

発行日：2025 年 5 月

発行者：地域学校協働活動推進委員

後藤弥生

つ な ぐ だ よ り



▼ 【地域の未来を担う子供たちの挑戦】

4月末日、祖父江小学校の南に位置する田んぼで5年生による田植え体験が行われました。私は補助として参加し、子ども達に昔ながらの田植えの方法を伝える役目をさせていただきました。普段、米作りの現場に触れることの少ない子どもたちにとって、足を泥に入れる感触や、手で苗を植える作業は新鮮そのもの。初めは「ぬるぬるして気持ち悪い」と戸惑っていた子も、次第に笑顔を見せ、真剣な表情で苗を植える姿が印象的でした。作業の合間には、「この苗でお米がどれ位とれるの?」「この田んぼでいくらのお金になるの?」と、たくさんの質問も飛び交い、改めて子どもたちの素直な探究心を感じました。指導する立場としても、普段当たり前に感じていた田植え作業を、子どもたちと一緒に体験することで、米作りの大切さや自然とのふれあいのありがたさを再認識する貴重な機会となりました。この体験が、子どもたちにとって食べ物大切さや地域の自然に目を向けるきっかけになればと願っています

▼ 【つながってるポイント!】

全国的に、田植えを授業の一環として実施している小学校は多数存在します。しかし、近年は田んぼを貸してくれる農家、米農家の高齢化により、継続的に実施することが難しくなっています。祖父江町校区内だけでも祖父江と山崎小だけなんです。今後は4年生の銀杏教室や1, 2年生のお芋ほり体験などなど地元の農業を体験しながら地域の人との交流を深めていきます。

豆知識クイズなになーに？

Q、手植え一回で植える苗の本数は5～6本です。これは成長するとどれくらいの量になるのでしょうか？

- 1, 寿司1貫
- 2, お茶碗一杯
- 3, バケツ一杯



※答えは最後に

つながちゃん



祖父江小学校と地域を旅して、人と人の間に小さな橋をかけるお手伝いが得意。「つながるってうれしいね」が口癖。

出身地__祖父江小学校

性格__いたずら好きで甘えん坊

お友達__二宮金次郎さん

地域の人達取材してみました

Q祖父江小学校の自慢できるところを教えてください。



いつも通勤で小学校の道路を車で通ります。曲がる時に歩道を渡る生徒さんが渡り切るとお辞儀をしてくれるのが大変心が温まり今日もお仕事がんばろって思います。

Q昔の祖父江小学校周辺の事教えてください。

50年位前は、今の様に道路が舗装されていなくて小学校も田んぼの真ん中にあったので、細いあぜ道を渡って登校していました。帰り道カエルやヘビを捕まえて遊んだのが懐かしい思い出です。



▼【コーディネーター自己紹介】

地域学校協働活動推進委員の後藤と申します。地域学校協働活動推進委員とは『地域と学校をつなぐコーディネーター』として活動が円滑にいくようにお手伝いをさせていただき活動をしています。お仕事は地元で農業をしており、お米やお野菜を作っています。祖父江小学校にも4年、6年の子供が通っており休日はサッカー観戦や読書をしています。最近はまっていることはchatGPTで遊ぶことです。毎月一回【つながだより】を発行していきます。地域と学校の素敵なつながりを多くの人に発信、伝播していけたらと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。

答え→2のお茶碗一杯です。約150gのお米がとれます。